

MINOURA

自転車室内練習機 **Live Ride LST9200**
用負荷装置 取扱説明書

KAGURA 神楽

(ver.1.4 2018/5)

本商品は、近年発売された弊社のタイヤドライブ式トレーナーの負荷装置をこれに取り替えることで、オンラインでの仮想コースを走るトレーニングソフトが使える「スマートトレーナー」にアップグレードできるキットです。

トレーナー本体の使い方については、お持ちのモデルの説明書をご参照ください。

お問い合わせ先

<販売元>

株式会社 フカヤ

〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町1-37-3F

Phone: (052) 228-8910 / Fax: (052) 228-8917

www.fukaya-nagoya.co.jp

<製造元>

株式会社 箕浦

〒503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸1197-1

Phone: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505

minoura@minoura.jp (営業) / infodesk@minoura.jp (修理窓口)

www.minoura.jp

日本製

注意していただきたいこと

ご使用になる前に必ずお読みください

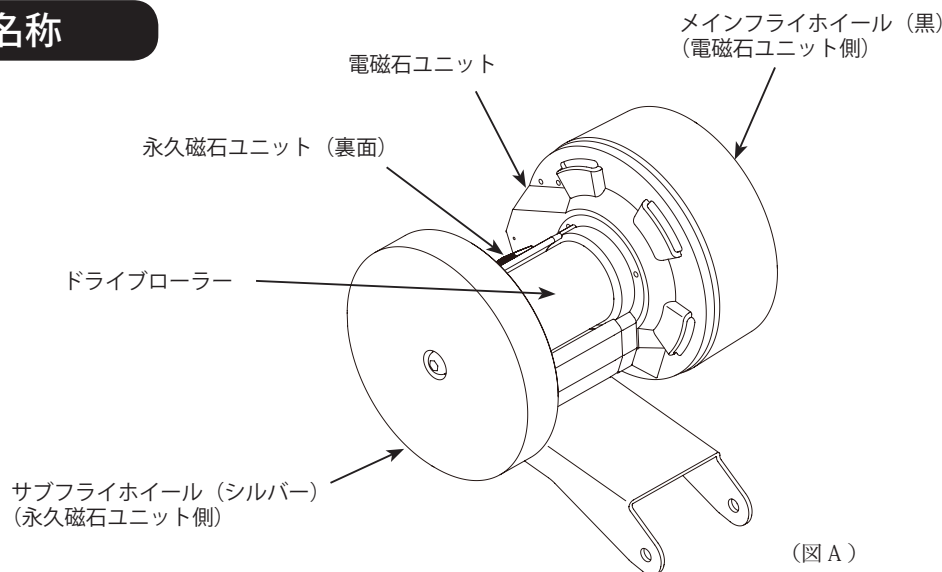
- お持ちのフレームに、負荷装置を取り替える作業が必要になります。
負荷装置は非常に重いので、落下させないように十二分に注意して作業にあってください。特に両端のフライホイール（黒色およびめっきの円筒形の部品）に衝撃を与えると致命的なトラブルになります。
弊社では個別に完全チェック済みの負荷装置を梱包しておりますので、不具合がないことを確認・保証した状態で出荷しております。
- タイヤドライブ式という構造上、タイヤやローラーのある程度の自然摩耗は避けられません。特に固定モード時においては、タイヤ寿命を最大限に伸ばすため、ローラーの後輪タイヤへの押し当て量は正しく（ローラーがタイヤを3～4mmの深さで押し込んでいる状態）調整してお使いください。調整を誤るとタイヤが予期せず早く摩耗してしまいます。
- 使用を中止し停止するときは、後輪ブレーキは使用しないでください。
ブレーキをかけて車輪を止めようとしても、負荷装置はフライホイールの慣性によりまだしばらくは回り続けようとしています。このとき回転するローラーと停止したタイヤとの間で強いスリップが生じ、タイヤ表面が凹むように異常摩耗したり、最悪の場合バーストしてしまう恐れがあります。車輪が自然に停止するまで待つだけにしてください。
- 負荷装置の引き起こしや折りたたみ時、フレームの開閉時に指などを挟まないように注意してください。
- 高速で回転している車輪や回転部に触れると怪我をします。また火傷するほど高温になっている部分もあります。トレーニング中は自分自身だけでなく、小さな子供やペットなども近づかせないでください。
- AC 100Vの家庭用電源を利用する商品です。水に濡らしたり泥をかぶるような環境では使用しないでください。屋内であっても埃のかぶらないクリーンな環境でお使いください。
ACアダプタそのものはワールドワイドな100V～240Vに対応しています。地域・国ごとに異なる電源プラグに適宜取り替えれば汎用的にお使いいただけますが、保証は最初に装着されているプラグ形状に適合し

た国のみとなります。

また電磁石ユニットのジャックに電源プラグを接続する際は、内部の基盤が破損してしまいますので、無理に強く押し込まないようにしてください。万一破損した場合は有償での修理となります。

- 本商品には、電磁石と永久磁石を使った2種類の異なる負荷装置が搭載されています。最大出力 2000W を誇る電磁石ユニットを利用したスマートトレーナーとして使用する際は、スマートフォンやPCなどを使用しての無線通信を経由しての方法でしか負荷調整ができず、手動では行なえません。スマートフォン・タブレット・WindowsPC・Macintoshなどは別途ご用意ください。また操作アプリは付属していません。別途購入もしくはダウンロードするなりして入手してください。永久磁石を利用した負荷装置は、屋外など電源が利用できない状況下でウォーミングアップなど軽い負荷で使用するためのものです。強い負荷はかけられません。
- 無線通信の使用が制限されている場所や、ペースメーカーなど電波により機能障害を起こすおそれのある方は、本商品の使用をお控えください。またそのような方のすぐ近くでは使用しないでください。
- 本商品に付属のもの以外のACアダプタは絶対に使用しないでください。電圧の違いなどにより意図せず加熱し破損や炎上したり故障の原因となります。誤ったものを使用するの不具合は、たとえ保証期間中であっても有償扱いとなります。
- 本商品を使用中にもし異常な音やにおいなどを感じた場合は、すぐに使用を中止し、お買い求めになった販売店にご相談ください。修理は弊社でのみ可能です。販売店では行なえません。弊社の承諾なく勝手に分解したりするとメーカー保証を受けられなくなり、すべての対応が有償になります。
- 弊社は、本商品をご購入された日から起算して1年間の、メーカー側に製造上の瑕疵があるトラブルに関しての品質保証を行っております。購入日の記録となるレシートなどは保存しておいてください。この説明書で指示されている以外の方法や目的で本商品を使用した場合や、弊社の許諾なく分解したり改造した場合にはすべての品質保証が無効となります。またユーザ側の不注意によりぶついたり落下させたり、必要以上に強く電源プラグを押し込んだり電源コードを強く引っ張ってしまったことなどによる断線や基盤外れなどの不具合や、通常予期できる部品の自然摩耗・消耗については、保証期間中であっても有償対応となります。輸送中の衝撃によるダメージなど工場出荷後のトラブルにつきましては、弊社ではなく、担当した運送業者に直接お問い合わせください。詳しくは添付の「製品保証規定」カードをご参照ください。また最新情報について弊社ウェブサイトをご参照するようにしてください (<http://www.minoura.jp>)。

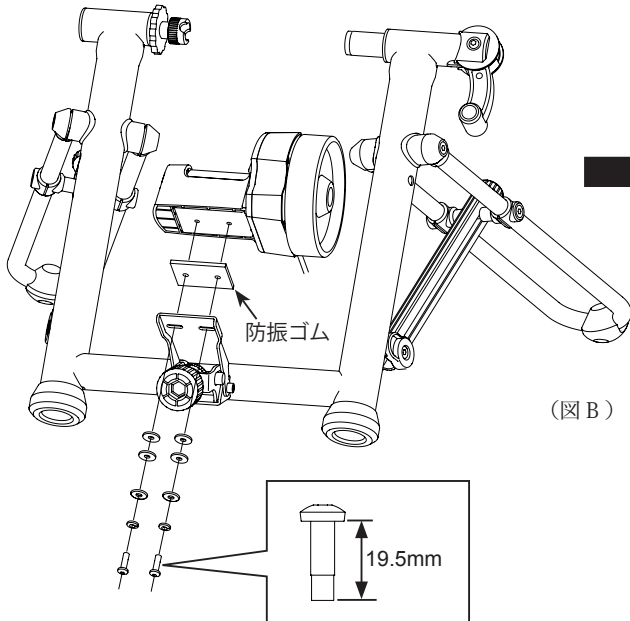
各部の名称



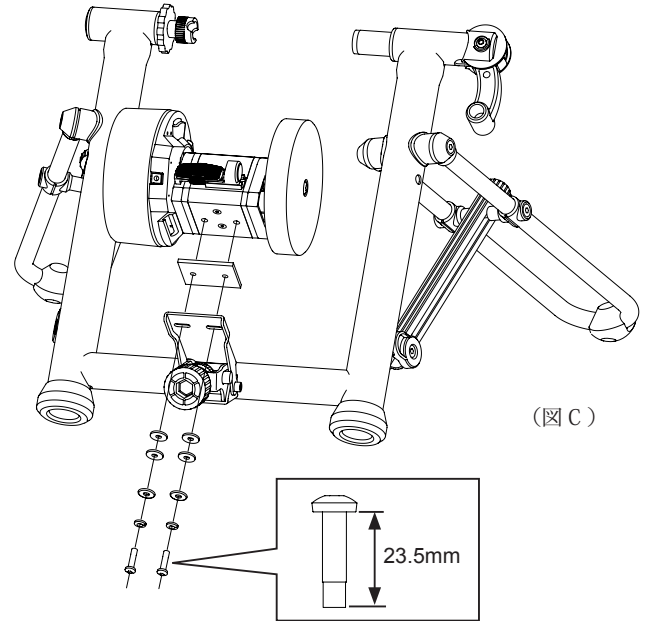
負荷装置の交換方法

負荷装置と取付台座との間に防振ゴムを挟んであるモデルの場合

① 既存の負荷装置を取り外します。

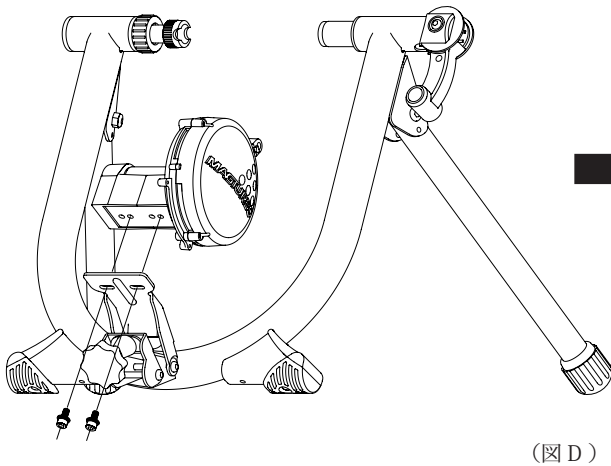


② 取り付けボルトを添付の長い方に取り替えてカグラ負荷装置を取り付けます。

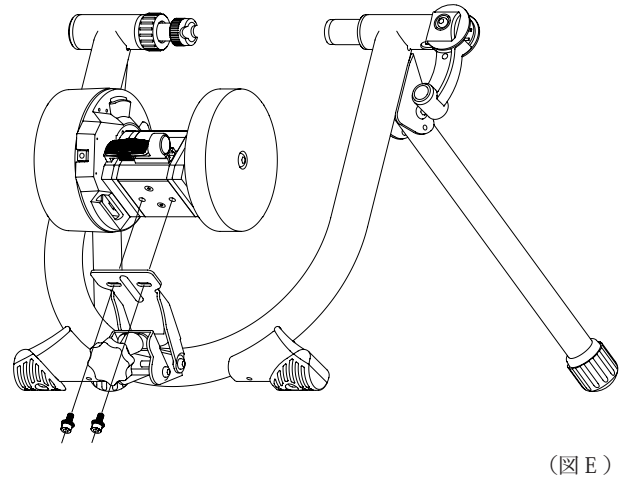


負荷装置が取付台座に直接取り付けられているモデルの場合

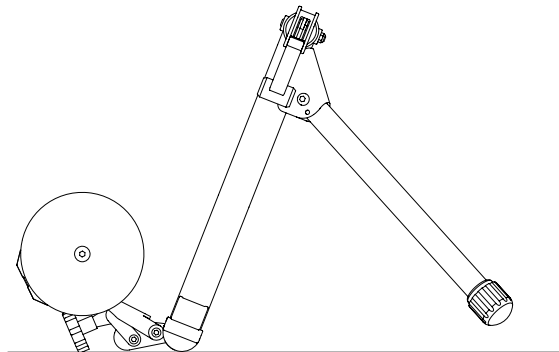
① 既存の負荷装置を取り外します。



② 取り付けボルトはそのまま、カグラ負荷装置を取り付けます。



カグラの負荷装置は重いので、軽量のフレームに取り付けた場合、自転車を装着していない場合には脚が浮いてしまうことがあります (図 F) が、これは異常ではありません。乗車時には荷重により正常な状態に戻ります。仮置き時の安定性にのみご注意ください。



(図 F)

電源の接続と動作確認

- 1** ACアダプタの丸形プラグを負荷装置後方のジャックに差し込みます。(図G)

! あまり強く押し込まないでください。
内部基盤が破損してしまう原因となります。

- 2** ACアダプタに電源コードを差し込み、電源コンセントに接続します。

- 3** これで自動的に電源が入ります。
このときLED表示は、赤色が連続点灯、青色が点滅になります。(図H)

- 4** 電源を切るときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
LEDがどちらも消灯します。

- 5** 無線接続の状態については、以下のようなLED表示パターンで示します。
また赤色LEDの点滅は、電磁石の負荷の増加中を示します。

ACアダプタ



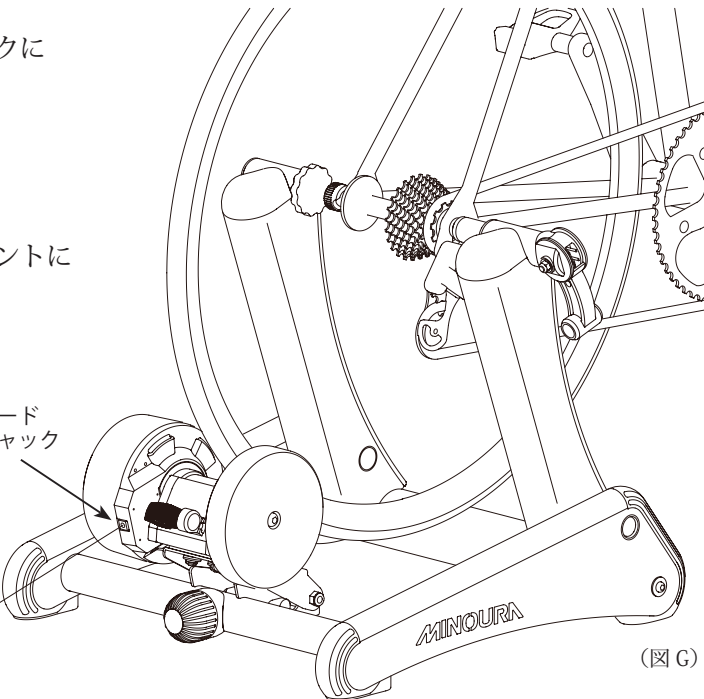
電源コード
接続ジャック

丸形プラグ

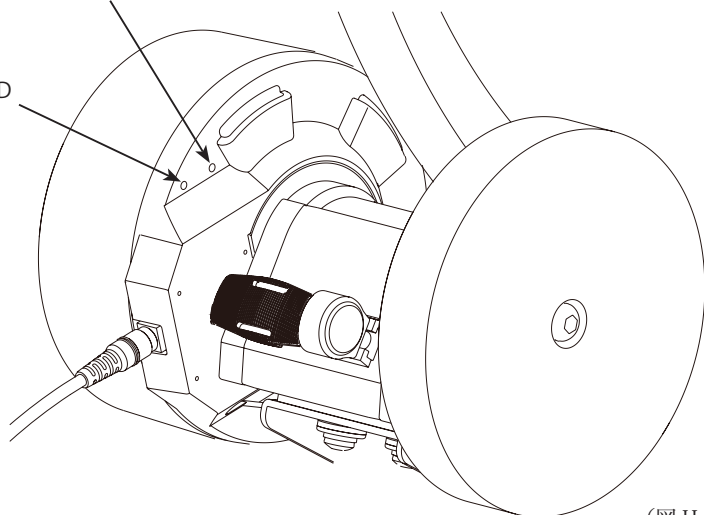
青色LED

赤色LED

! アプリの使い方やペアリングの方法については、それぞれのアプリを参照してください。
弊社ではアプリひとつひとつの動作や操作方法については把握していません。



(図G)



(図H)

LEDの表示パターンと意味

● ● ● ● ● 点滅 ■■■■■ 点灯

青色LED



赤色LED



電源が入り、ペアリング待機中の状態

青色LED



赤色LED



Bluetoothで接続され、ペアリングが完了した状態
(青色LEDが点滅から連続点灯に変化)

青色LED



赤色LED



Bluetoothで接続され、電磁石式負荷装置の負荷量が上昇中の状態

青色LED



赤色LED



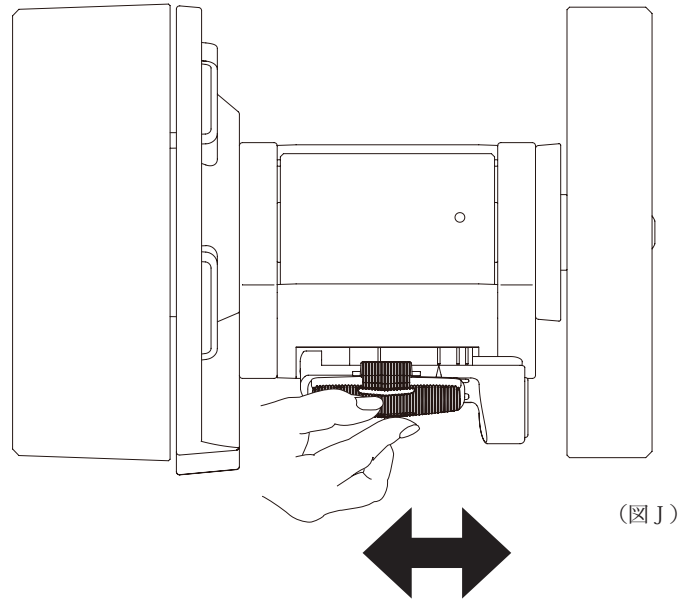
ANT+で接続され、ペアリングが完了した状態
(青色LEDは点滅のまま。接続には別途ANT+用レシーバが必要)
接続状態の確認はアプリ画面上で行なってください。

(図I)

永久磁石式負荷装置の使い方

負荷装置の軸受け部中央にある赤いスライド式レバーは、永久磁石（ネオジム磁石）を利用した補助的な負荷発生装置で、電源が確保できない屋外などでもカグラユニットを使用できるようにと装備したものです。ウォーミングアップやクールダウン、軽いエクササイズ用として使えます。負荷調整は4段階です。

赤いレバーを指で押し込んだ状態でスライドさせて、希望位置にセットします。爪がかかって「カチン」と止まる位置に保持してください。磁石がシルバーのサブフライホイールに近づけば近づくほど負荷は増えます。

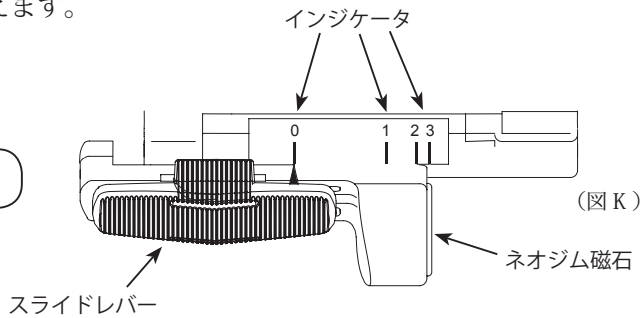


(図J)

負荷：微量（ゼロではありません）

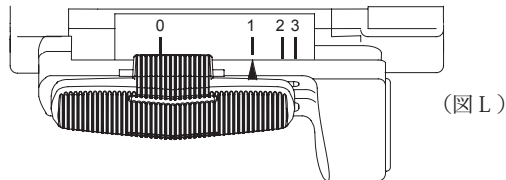
いちばん磁石がフライホイールから離れている状態。

0位置



(図K)

1位置

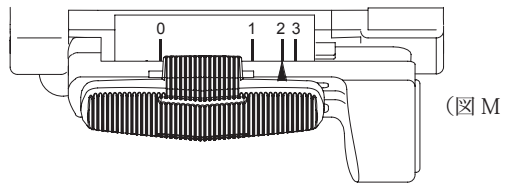


(図L)

負荷：約 100W（40km/h 走行時）※

1段磁石がフライホイールに近づいた状態。

2位置

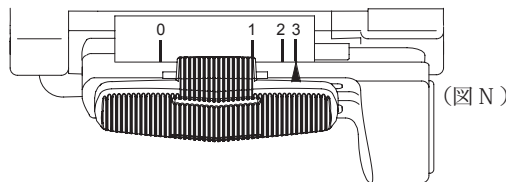


(図M)

負荷：約 200W（40km/h 走行時）※

さらに磁石がフライホイールに近づいた状態。

3位置



(図N)

負荷：約 300W（40km/h 走行時）※

磁石が最もフライホイールに近づいた状態。

※ 本商品は計測機器ではありませんので、その数値の保証はいたしません。

商品そのものには個別のばらつきがあり数値は前後します。



負荷調整は、車輪の回転が止まってから行なってください。



磁石とフライホイールとの間に指を挟まないように注意してください。



永久磁石に異物が付着していないことを確認してからお使いください。



スマートトレーナーとして使う場合は、磁石は0位置にセットしておきます。

動作がおかしいときは

<http://www.minoura.jp/data/trainer/smartturbo/firmware-update-instructions-2-jp.pdf>

まずは動作の基本となるファームウェアをアップデートさせましょう。デバイス側 OS やアプリは予告なしに頻繁にバージョンアップを重ねています。そのためいつの間にか新しい環境に適応しなくなり動作が不安定になってしまうことがあるのです。上記リンクにある説明書に従ってアップデートを実行してみてください。